

## G30日本語教育 2016年度報告

国際教育交流センター国際プログラム部門

初鹿野 阿れ・徳弘 康代

### 1. 国際プログラム (学部) における日本語科目

G30日本語教育は、主に、2011年秋学期に始まったG30国際プログラム (学部) の必修科目である日本語科目のコーディネートと教育を行っている。秋学期始まりであるため、2015年秋入学生の後期 (春学期) 日本語科目と、2016年秋学期入学生の前期 (秋学期) 日本語科目が本年度の報告となる。

2015年秋入学者のうち、春学期日本語科目(「総合日本語・日本語セミナー (コミュニケーション)」または、「アカデミック日本語」「ビジネス日本語」) を履修した48名は、必修6単位 (通年で12単位) をすべて取得した。成績が不良の学生達には、個人指導を行い、再試等で対応した。

また、2015年9月に卒業した2期生の中には、日本の大手企業に就職した学生も出る等、日本語学習がキャリア形成に結びつくという成果が徐々に現れ始めている。今後、さらに多くの学生が日本での就職に希望が持てるよう、日本語の科目を新たに開講する等、対応が求められるであろう。

2016年秋入学者に対しては、9月にプレースメント・テスト及び、日本語ガイダンスを実施し、日本語で単位を取る学生を適切なクラスに振り分けた。入学者中、必修外国語を日本語で取る学生は30名 (うち1名退学) であった。初級クラスは25名、4名が中級クラスとなり、全員が必修6単位を取得することができた。なお、プレースメント・テストにおいて、一定の日本語能力を有すると判断された学生は、日本語能力試験の判定結果により、N1・N2は6単位、N3は3単位が、日本語科目の履修に代えて認定される。残りの外国語必修科目は、学生の母語ではない他の外国語で取ることになっている。その際、6単位すべて1外国語で取らなければならない。

以下は毎年開講されている授業科目の一覧 (コース名と主要教材) である。分かりやすいように、秋学期

を先にする。必修科目は1年次に行われるが、2年生以上で日本語を使って研究、就職を考えている学生にも、これらの科目は履修可能になっている。

#### <秋学期>

- ・総合日本語 1a・1b
- ・日本語セミナー (コミュニケーション) 1a・1b  
『日本語初級1大地』  
『Write Now! Kanji for Beginners』
- ・アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 1  
『大学・大学院留学生の日本語1 読解編』  
『大学・大学院留学生の日本語2 作文編』
- ・アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 3  
『大学・大学院留学生の日本語3 論文読解編』  
『大学・大学院留学生の日本語4 論文作成編』
- ・アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 5  
『日本語学習のためのよく使う順漢字2200』
- ・アカデミック日本語 (聴解・口頭表現) 1  
『中級日本語で挑戦! スピーチ&ディスカッション』
- ・アカデミック日本語 (聴解・口頭表現) 3  
『アカデミック・スキルを身につける聴解・発表ワークブック』前半
- ・ビジネス日本語 1  
『新装版ビジネスのための日本語』前半
- ・ビジネス日本語 3  
『新装版商談のための日本語』前半

#### <春学期> (2015年4月～2015年9月):

- ・総合日本語 2a・2b
- ・日本語セミナー (コミュニケーション) 2a・2b  
『日本語初級2大地』  
『Write Now! Kanji for Beginners』
- ・アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 2  
秋学期と同じ教材の後半

- ・アカデミック日本語（文章理解・文章表現）4  
秋学期と同じ教材の後半
- ・アカデミック日本語（文章理解・文章表現）5  
『日本語学習のためのよく使う順漢字2200』
- ・アカデミック日本語（聴解・口頭表現）2  
『もっと中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』
- ・アカデミック日本語（聴解・口頭表現）4  
『アカデミック・スキルを身につける聴解・発表ワークブック』後半
- ・ビジネス日本語 2  
『新装版ビジネスのための日本語』後半
- ・ビジネス日本語 4  
『新装版商談のための日本語』後半

## 2. その他の活動

毎年2月に行われる名大基金感謝の集いにおいて、名大基金から奨学金をもらっている学生が感謝のスピーチを行っている。本年度もG30の学生を2名選出し、スピーチの指導を行った。奨学生はG30の留学生だけではないが、ほぼ毎年G30の学生の中から優秀な学生が感謝のスピーチを行っている。今年度の学生のスピーチも出席者から高い評価を受けている。

その他、2016年2月から始まった名古屋大学短期日本語プログラム（NUSTEP）の日本語科目コーディネートの支援、四大学連携事業日本語講座（名古屋大学における日本語能力試験N2，N3対策講座，三重大学における週末サバイバル日本語講座）のコーディネート等も担当している。



[平成28年度名古屋大学基金感謝の集い]